

令和3年度 専門課程

第1回 教育課程編成委員会（ファッション科・情報デザイン科）議事録

- 1 開催日時：令和3年3月15日（月）14時～16時
- 2 開催会場：トーラス1F
- 3 委員名簿：

	名前	所属	任期	種別	
ファッション	吉岡 伸英	株式会社ヨシオカ 代表取締役	平成31年2月～令和3年3月（2年）	③	
	岡田 雅文	NOUVEL des HIOC オーナー	平成31年2月～令和3年3月（2年）	③	
	大塚 弘泰	大塚衣料株式会社 代表取締役	平成31年2月～令和3年3月（2年）	③	
	園部 泰敏	三敬㈱ 代表取締役社長	令和2年8月～令和3年3月（1年）	③	
情報	高橋 利行	岐阜協立大学 経済学部 教授	平成31年2月～令和3年3月（2年）	②	
	佐竹 輝美	株式会社デリカサイト 執行役員 情報本部長	平成31年2月～令和3年3月（2年）	③	
	南方 祐紀	株式会社グラスプアットジェアー 代表取締役	平成31年2月～令和3年3月（2年）	③	

※委員の種別

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しない。） ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

学校側参加者：校長 平野 宏司 副校長 岡本 春信 職員 久保田百合子 西村 佳子

- 4 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

ファッション科

現在、アパレル業界では人口減少や消費者の低価格志向により市場規模が横ばいで推移する中、ファッション性が高く、低価格な商品を展開するSPA（製造小売業）が成長している。現状は、オーバーストア（出店過剰）とオーバーサプライ（供給過剰）によって企業収益が悪化し、メーカーの商品企画・開発力が低下している。また、従来のメーカーによる企画・生産、小売店による仕入・販売体制が衰退し、実店舗とネット通販を組み合わせた複数の販売チャンネル（オムニチャンネル小売り）の活用が増加している。今年度にはいり、コロナ禍の中、先行きの見えない状況が続いている。このような業界の現状を踏まえ、多様な消費者ニーズに応え、商品の高付加価値化を図るため、デザイン、素材、加工技術などの「ものづくり力」とブランド創造力、資金調達、経営能力などの「ビジネス能力」を備えたアパレル専門家の育成を目的とした授業科目の開設、授業内容・方法の工夫・教育課程の編成を行う。また、岐阜のアパレル産業は、日本でも有数の商業分業体制を実現し、ファッション情報の集積基地を目指している。これに関わるアパレル産業の役職員やサプライチェーンの専門家の助言を得て教育課程を編成する。実務に携わる専門家の意見を随時取り入れることによって、アパレル産業振興の方向性や新しく身につけるべき知識やスキルを教育課程に反映し改善させていく。

情報デザイン科

現在、IT（情報技術）人材の不足が大きな課題となっている。理由は、情報セキュリティに対するニーズの増加、ビッグデータ、IoT等の新しい技術やサービスの登場によるIoT利活用の高度化・多様化が進展することが挙げられる。今年度にはいり、コロナ禍の中、先行きの見えない状況ではあるが、情報セキュリティ人材は、現在の不足数が約20万人、先端IT人材は、4.8万人の不足といわれている。以上のことから、IT人材の育成を目的とし、教育課程編成委員会と連携して、実践的かつ高度な職業教育を通して社会的ニーズに応えられる、自立した職業人育成を目指す教育課程を編成する。岐阜県のIT関連企業の集積や優れた情報基盤であるソフトピアジャパンエリアの情報産業の役職員や情報産業界の各種エンジニア、プロジェクトマネージャー等の専門家の助言を得て教育課程を編成する。情報産業振興の方向性や、新しく身につけるべき知識やスキルを、実

務に携わる専門家の意見を随時取り入れることによって、教育課程に反映し改善させていく。

5 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、企業関係者、ファッション・IT 業界役員及び学校法人平野学園職員からなり、委員の意見に基づいて、より実践的な職業教育の教育課程編成を審議するものと位置付ける。また、2 月（3 月）に 1 回、8 月に 1 回、教育課程編成委員会を開催し審議を行う。

【次年度の教育課程編成】

（1）前年度の課題の抽出と改善策の検討

教育課程編成委員会構成員の学校法人平野学園職員により、生徒及び科目担当教員の意見聞き取りと質問調査を実施し課題を抽出する。その結果を教育課程編成委員会に示し、教育課程の改善策を協議する。そのうえで次年度の教育課程の編成について改善を行う。

（2）基本方針の策定

教育課程編成委員会構成員の企業関係者及びファッション・IT 業界役員より、業界の動向や新たに必要となるスキル等についての意見を聞き取る。そのうえで教育課程編成委員会にて協議し、次年度の教育課程編成の基本方針を決定する。

（3）教育課程案の策定

教育課程編成委員会構成員の学校法人平野学園職員により、協議した改善案を教育課程の編成に反映させ、各科目の内容を決定し、次年度の教育課程案を作成させる。

（4）教育課程の決定

教育課程編成委員会により、作成した教育課程案について協議し、次年度の教育課程を決定する。

【前期実施を踏まえての後期の教育課程改善】

（1）基本方針の改善

教育課程編成委員会構成員の学校法人平野学園職員により、生徒及び科目担当教員の意見聞き取りと質問調査を実施し課題を抽出する。その結果を教育課程編成委員会に示し、教育課程の改善策を協議する。そのうえで後期実施の教育課程の編成について改善を行う。

（2）基本方針の決定

教育課程編成委員会により、助言や改善策に基づいて協議し、来年度実施の教育課程編成の基本方針を決定する。

6 議事（司会 岡本）

（1）校長挨拶（平野校長）

（2）参加者紹介（岡本）

（3）学校より説明

ア．職業実践専門課程および教育課程編成委員会の説明（岡本）

○「職業実践専門課程」とは・・・専門学校のうち、企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する。

認定のポイント

① **「教育課程編成委員会」を設置** ②企業等と連携して授業を実施 ③企業等と連携して教員研修を実施

④ 「学校関係者評価」を実施 ⑤ HP でカリキュラム他の情報提供

教育課程編成委員会は、職業実践専門課程認定校として、本校の実践的な職業教育・専門教育の質的向上を図ることを目的とする。

○令和 2 年 3 月 2 5 日 職業実践専門課程の認定を受ける

(参考 県内認定校 大原法律公務員専門学校岐阜校 大原簿記医療観光専門学校岐阜校

岐阜県立国際園芸アカデミー 岐阜調理専門学校 岐阜美容専門学校 サンビレッジ国際医療福祉専門学校

専修学校中部国際自動車大学校 中日本航空専門学校 ベルフォート・アカデミーオブビューティ)

イ 全体として留学生及び日本人学生の状況について

(募集から現在まで) プレゼンを見ながら 岡本

- ① 近隣優良日本語学校を指定校とし、学生を推薦してもらう。
- ② 入学試験(日本語筆記試験、面接)で日本語力(日本語検定 N3 程度)と動機等確認。
- ③ R3 合格者決定 ファッション科 18 人、情報デザイン科 22 人
- ④ 学習環境整備 新校舎建設、机・椅子等備品整備
- ⑤ コロナ感染予防 消毒徹底、三密回避、玄関に温度計設置、留学生に消毒液、体温計貸し出し
- ⑥ 学生生活指導 ビザ更新、寮、交通指導、生活指導(ゴミ出し等) 掃除、あいさつ

給付金、日本語、出席、アルバイト、当校独自の奨学金

成果 ○実質6月からの学習であったが、ファッション科・情報デザイン科ともにまじめに学習していた。

○ファッション科 基本アイテム(スカート・パンツ・シャツ等)の製作、ファッションショーの実施、理論系科目の理解
デザイン画入選(日本人)

○情報デザイン科 基本的なビジネスソフト及びプログラムの理解、プレゼンテーション練習

○留学生は日本語 N1 1名 N2 1名 合格

○コロナ感染防止は徹底できている。(しかし他校の留学生でクラスターがでているので収束まで油断はできない。)

課題 ○コンテストなどが中止となっているので、校内での目標を作る。留学生には、奨学金給付を行う。(例えば日本語検定 N2 取得、皆勤等) ○日本人と留学生の技術差が大きい。(特にファッション科) 留学生に手がかかるぶん、日本人にももっと指導が必要。○学習外の留学生支援(ビザ更新、学費徴収、小さなトラブル、コロナ感染していないか、オーバーワーク、夜中のアルバイトによる疲労、出席状況(7割を切るとビザが更新されない))が大変である。○コロナの影響で、今年度の学園祭・大垣ファッションフェスティバルができなかった。(一部 youtube で配信、卒業式にもビデオ上映) オープンキャンパス・入試は予定通り行えた。ズームで一部遠隔授業を行った。○来年度の職員・部屋の確保(教育課程の見直しも) ○少しでも卒業後の働き口を開拓する。

(ファッション科教育課程と学生の現状) 久保田

○学生はアルバイトが大変であった。そのなかでも、学生全体の成績平均は5段階で4.0、出席率も92パーセントとよく頑張ったと思われる。日本人の就職率は100パーセント、専攻科卒業生は当校の教諭に内定した。

(情報デザイン科教育課程と学生の現状) 西村

日本語で教える、ということがとても大変である。工夫をして、少しでも理解してもらえるようにしている。

就職についてはコロナ禍の中で出遅れ、大変苦労した。

新					
令和3年度 教育課程					
服装専門課程					
ファッション科					専攻科
科目		1年	2年	計	
服装構成学		9(315)	9(315)	18(630)	9(315)
色彩学	A	1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
スタイリスト論		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
ディスプレイ		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
服装史	A	1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
デザイン学		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
デザイン画		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
服飾手芸		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
マーケティング	A	2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
マーチャンダイジング論		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
産業用パターン		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
社会学	A	2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
企業研究	A	2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
ビジネス基礎		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
ビジネス基礎		2(70)	2(70)	4(140)	
企業研究	B	2(70)	2(70)	4(140)	
文化と社会		2(70)	2(70)	4(140)	
検定対策	選択	2(70)	2(70)	4(140)	
合計単位数(年間単位)		26(910)	26(910)	52(1820)	26(910)

※ AまたはBを選択必修修、他科目は必修修、専攻科は必修修のみ

※ 選択科目を履修した場合は増単とする。

今回の教育課程改善点のポイント

ファッション科

科目の精選を行う。「ビジネス基礎」は主に日本人学生向けの内容(礼法)であったので、留学生向けに日本語教育と統合して行う。また「服装構成学」の内容を一部見直し1単位減らし、総合計28→26単位とする。ただし、日本人は検定対策が必要なので、選択科目として2単位は残しておく。

情報デザイン科

ファッション科同様、科目の精選を行う。昨年度、初心者が多い留学生のために「ITリテラシー」を2単位設けたが、タイピング等は比較的スムーズにできたので、1単位で行うことが可能である。またビジネス関連も1単位で行い、総合計28→26単位とする。ただし、CGの製作に対する時間が不足しているので、1、2年生とも4単位ずつとし、デザインにも強い学生を目指す。プログラミングVBAは2年生のみとし、1年生の2単位を減らした。ただし、ファッション科同様検定対策が必要なので、日本人用の検定対策を別途選択科目として行う。

旧					
令和2年度 教育課程					
服装専門課程					
ファッション科					専攻科
科目		1年	2年	計	
服装構成学		10(350)	10(350)	20(700)	10(350)
色彩学	A	1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
スタイリスト論		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
ディスプレイ		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
服装史	A	1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
デザイン学		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
デザイン画		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
服飾手芸		2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
マーケティング	A	2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
マーチャンダイジング論		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
産業用パターン		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
社会学	A	2(70)	2(70)	4(140)	2(70)
ビジネス基礎		1(35)	1(35)	2(70)	1(35)
日本語読解		2(70)	2(70)	4(140)	
日本語コミュニケーション	B	2(70)	2(70)	4(140)	
日本文化		2(70)	2(70)	4(140)	
合計単位数(年間単位)		28(980)	28(980)	56(1960)	28(980)

※ AまたはBを選択必修修、他科目は必修修、専攻科は必修修のみ

新				
令和3年度 教育課程				
文化教養専門課程				
情報デザイン科				
科目		1年	2年	計
AIコミュニケーション概論		4(140)		4(140)
AIコミュニケーション演習			4(140)	4(140)
マルチメディア基礎		2(70)	2(70)	4(140)
メディア表現演習		2(70)	2(70)	4(140)
WEBデザイン		2(70)	2(70)	4(140)
CG基礎		4(140)		4(140)
CG演習			4(140)	4(140)
コンピュータ基礎	A	4(140)		4(140)
コンピュータ演習	A		4(140)	4(140)
ビジネス業務Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス業務Ⅱ		2(70)		2(70)
ビジネス業務Ⅲ			2(70)	2(70)
ビジネス業務応用Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス業務応用Ⅱ			2(70)	2(70)
ITリテラシー		1(35)	1(35)	2(70)
ビジネス基礎Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス基礎Ⅱ			2(70)	2(70)
ビジネスマナー		1(35)	1(35)	2(70)
企業研究Ⅰ	A	2(70)		2(70)
企業研究Ⅱ	A		2(70)	2(70)
企業研究	A	2(70)	2(70)	4(140)
ビジネス基礎	B	2(70)	2(70)	4(140)
企業研究		2(70)	2(70)	4(140)
文化と社会		2(70)	2(70)	4(140)
検定対策	選択	2(70)	2(70)	4(140)
プログラミング特講	選択	2(70)	2(70)	4(140)
合計単位数(年間単位)		26(910)	26(910)	52(1820)

※ AまたはBを選択必修、他科目は必修

※ 選択科目を履修した場合は増単とする。

旧				
令和2年度 教育課程				
文化教養専門課程				
情報デザイン科				
科目		1年	2年	計
AIコミュニケーション概論		4(140)		4(140)
AIコミュニケーション演習			4(140)	4(140)
マルチメディア基礎		2(70)	2(70)	4(140)
メディア表現演習		2(70)	2(70)	4(140)
WEBデザイン		2(70)	2(70)	4(140)
CG基礎		2(70)		2(70)
CG演習			4(140)	4(140)
コンピュータ基礎	A	4(140)		4(140)
コンピュータ演習	A		4(140)	4(140)
ビジネス業務Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス業務Ⅱ		2(70)		2(70)
ビジネス業務Ⅲ			2(70)	2(70)
ビジネス業務応用Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス業務応用Ⅱ			2(70)	2(70)
ITリテラシー		2(70)	2(70)	4(140)
ビジネス基礎Ⅰ		2(70)		2(70)
ビジネス基礎Ⅱ			2(70)	2(70)
企業研究Ⅰ	A	2(70)		2(70)
企業研究Ⅱ	A		2(70)	2(70)
日本語読解	B	2(70)	2(70)	4(140)
日本語コミュニケーション		2(70)	2(70)	4(140)
日本文化		2(70)	2(70)	4(140)
プログラミング特講	選択	2(70)	2(70)	4(140)
合計単位数(年間単位)		28(980)	28(980)	56(1960)
プログラミング特講を選択した場合		30(1015)	30(1015)	60(2030)

※ AまたはBを選択必修、他科目は必修

ウ. 今年度と来年度の情報デザイン科カリキュラム及び教育活動の説明

①前回の教育課程編成委員会で述べた主な提言と改善点

(ファッション科) 自分の会社は OEM とスポーツウェアの事業を行っている。自社ブランドの企画も行っている。県のアパレルはコロナ禍で打撃を受けている。今後どうなっていくかわからない状況である。ネット販売に重きを置かざるをえない。経営者の目からみてもそちらに力をいれていかないと生き延びられない。当社は岐阜女子短大と提携していたが、この学生がほしい、という学生を採用した。情報に強いなど、突出した学生を育ててほしい。

→日本人は ipad を使わせて VMD の基礎を行わせた。基本的なことはできるようになったが、「使いこなす」まではできていないので、もっと情報機器を使わせるようにしたい。

(ファッション科) 岐阜のアパレルとしては、中国で作っていたが、日本語ができる人材、ファッションの用語がわかる人材を探したことがある。今回アジアの留学生がはいつてきたということだが、日本語に力をいれてほしい。日本とアジアの国の懸け橋になる学生を育ててほしい。

→留学生は就職に日本語が必須であることはよく理解していてまじめに取り組んでいる。しかしなかなか日本語力、特に読み書きはむづかしいようである。来年度は「日本語」という教え方ではなく、ビジネスの中で使えるような教え方をしたい。「実用日本語検定」も立ち上げた。日本と自国との貿易に興味をもつ学生がいる。

(ファッション科) コロナ禍の中で、東京に買い付けにいけない。各企業ともズームで展示会を行っている。動画での商品紹介もある。こういう時代であるから「対応力」が必要である。商品の魅力とともに「人」の魅力が必要。この人だからオーダーしたい、という人間性を磨くことが必要である。またオンラインの授業となるなら、課題の出し方も研究しなければいけない。ボタン付けはどうするか、また CAD もとりいれてほしい。SNS での発信が極めて重要となっている。あたらしいことであるが、面倒くさがらずに豆にやってほしい。最後に「着地点を決める」が「洋服屋をやりたい」という着地点があれば、それに向かってやっていける。志(こころざし)をもつこと。技術は人より劣っていても、モチベーションがあればやっていける。

→単なる授業や講義ではなく、学生同士の話し合いなども取り入れて、チームで学習していくことがカギとなると思われる。競争したり、共同したりしていく中で力をつけていきたい。まだまだその域には至っていないので、来年度授業の展開に取り入れていく。写真の講座も作り、SNS であげる力をつけたい。

(情報デザイン科) 当社もコロナ禍のために、ネットや宅配などに力をいれている。休業補償を受けながらやっている状態である。しかし情報の分野は大変忙しい。現在商談などは対面でできない状態なので、iPad で現場を見せる、という形で行っている。お客様からは HP で予約のページを作ってほしい、というような要望が大変多い。情報機器を使いこなせる学生を育ててほしい。Web の予約サイトを作れるような技術をつけること。イラストレーター・フォトショップを使いこなせる学生がチラシ・ポスターなどを作れる人材が必要である。ビジネスの現場では技術者と営業の両方の力が求められる。どんな社員にもネットに強いことが要求されるのが現在の現場である。

→当校の目指す学生の理想であると思われる。今年 IT リテラシーを立ち上げて、プロジェクト型の授業を行った(例 観光会社のパワーポイントを作り、社員としてプレゼンを行う等)ただ「使いこなす」まで習熟ができないので、どの能力をどの程度まで伸ばすことができるか、を考えて教育課程を編成する。

(情報デザイン科) 情報デザイン科だけでなく、ファッション科でも増単して「情報」の学習をおこなってはどうか。また留学生の就職についても考えてやらなければいけない。帰国した場合でも優秀な人材を育ててほしい。

→ファッション科の学生の「情報化」に対する欲求は強かった。来年度はパソコンを使用しやすい場所に移すので、ファッション科も学習できるようにしたい。また就職については、来年度から本格的に指導していくが、現在「特定技能」(外食産業など)も一部指導して、学生の希望にあうようにしている。

(情報デザイン科) オンラインでこの会議は実施されているわけであるが、当社でも展示会などをオンラインで行いたい、というお客様の相談が相次いでいる。新しいコミュニケーションの方法として、必須である。また情報発信力が大切で、こちらの HP も刷新されているようだが、FB が海外でも最も使われている。学生の発表の場としてオンラインを使うことができる。「人に見せる」ということが成長につながっていくので積極的に発信して欲しい。

→コロナ禍の中、職員が多忙で情報発信まで手がまわらなかったが、やっと秋から FB を本格的に使って学校の情報発信を行っている。また OFF がコロナ禍の中で中止せざるを得なかったので、代替として動画にとって発信している。他校もどんどん YouTube で発信しているので、当校も研究して学生の作品を発信していきたい。ただし音楽など著作権などの問題にならないようにしたい。校内の発表だけでなく校外へ向けても発信したい。

(4) 委員意見・協議

○コロナ禍のために、大学も来年度の学生募集は苦戦することが予想される。しかしグローバル人材は必要であるので、専門学校には、企業が何を求めているのか、を察知し、それに答えていくことが必要だと思われる。

○「検定対策」という授業があるが、名称について、確認をしてほしい。

○ご苦労されていることがよくわかった。当社でもコロナ禍は深刻で、出荷ができない状態が続いたが、ようやく少しずつ動き出した。しかしよいこともあり、社内の環境の変化に伴い、営業スタイル、会議方法など工夫してやることが大切であることがわかった。WEB-EDI を使うなどして説明会を行っている。費用削減なども行っている。コロナ禍ではあるが、工夫が大切である。また例えばエクセルで素晴らしい表は作れても、提案力がない。作ることに精一杯となっている。そのような人材を育ててほしい。今回のことで IT 関係の能力がある社員はとても役立つことがわかった。先への見通しができる人材を育成してほしい。

○パワーポイントで発表ができる学生は素晴らしい。当社では FC 岐阜サッカーチームのユニフォームを受注したが、デザインは若い社員が考えている。学生は「自由課題」を与えてやると自分の発想をするので良いと思う。

○映像の需要が高まっている。当社でも企画している。YouTube やホームページに載せることが多い。イベントができない分、情報発信として重要である。映像を扱いかい、表現できるようにしてほしい。

7 当校教育課程編成委員 再任のお願い 令和3年3月～令和5年3月

8 校長まとめ、お礼

9 事務連絡 ○交通費の印鑑またはサインのお願い ○次回開催 令和3年8月